

◆特別講義②〔北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割〕への質問◆

ご質問ありがとうございます。以下の回答で不十分な場合には、講義資料最終スライドに掲載されているメールアドレスまで、お問い合わせください。

質問1 【資料の弁償等について】

貸出資料の長期延滞や汚破損、その他館内での資料汚破損や什器汚破損に対して、北ヨーロッパの公共図書館はどの様に対応しているのでしょうか。

回答

各館あらかじめ延滞料や補償金を設定しています。たとえば 2019 年時点でのフィンランド・ヘルシンキ市図書館の料金表は以下のようになっていました。

ヘルシンキ市図書館料金表

延滞料	
成人資料 延滞料 1日につき	0.2ユーロ (約26円)
成人資料 延滞料 最高限度額	6ユーロ (約780円)
補償	
成人用図書館カード 紛失・破損	3ユーロ (約390円)
子ども（15歳以下*）用図書館カード 紛失・破損 * 2018年から 18歳以下となった	2ユーロ (約260円)
資料の紛失・汚損	
成人の資料 紛失・破損：DVD,ブルーレイディスク、ビデオゲーム	42ユーロ (約5460円)
子どもの資料 紛失・破損：DVD,ブルーレイディスク、ビデオゲーム	17ユーロ (約2210円)
成人の資料 紛失・破損	5ユーロ (約650円)
子どもの資料 紛失・破損	3ユーロ (約390円)
貸出用バッグ、ホームサービス貸出バッグ* *病気、怪我、年齢等により来館できない利用者への配本サービス	10ユーロ (約1300円)
サービス料金	
セルフサービスの印刷 *登録利用者は 3ヶ月ごとに 5 ページまで無料で印刷可能	1ページ0.4ユーロ (約52円)

コレクション資料の複写サービス	1ページ1ユーロ (約130円)
遠隔サービス料金	
フィンランドと北欧諸国からの貸借	1点4ユーロ (約520円)
ブリティッシュライブラリーからの貸借	1点25ユーロ (約3,250円)
外国からの貸借	1点14~25ユーロ (約1820~3250円)
各種料金	
中央図書館、講堂、コンピュータ講座用ルーム	1時間45ユーロ (約5850円)
他の施設	1時間30ユーロ (約3900円)
駐車料金(敷地内駐車)	1時間2ユーロ (約260円)
物品の販売	
除籍図書・雑誌	0.2~35ユーロ (約26~4550円)
ビニール袋	0.4ユーロ (約52円)
布袋	2.5ユーロ (約325円)
CD-R	1枚1.5ユーロ (約195円)
DVD-R	1枚2ユーロ (約260円)
コーヒー	1杯1ユーロ (約130円)
マーカースペースのサービス	
3D プリント	1回0.7ユーロ (約91円)
素材 (1人1メートルまで)	10センチ1.2ユーロ~ (約156円)
ラミネートフィルム A4 サイズ	1枚0.3ユーロ (約39円)
バッジ製造機用の小・大サイズのバッジ (1人20個まで)	1個0.5ユーロ (約65円)

出典：吉田右子，小泉公乃，坂田ヘントネン亜希『フィンランド公共図書館』新評論，2019，p. 46, 47.

質問 2

図書館等の施設サービスは、設置及びその周辺地域の住民の利用が多くなります。北ヨーロッパの図書館の総合文化施設機能は、日本では、図書館と、いわゆる文化ホール的施設に分散されている場合も多いと思います。2施設に分散設置の場合、2カ所の地域の住民が、種類は異なるものの、施設サービスを利用しやすい状況となります。総合文化施設として1カ所設置の場合、その1カ所以外の住民は施設サービスを利用しづらく、施設サービスの利用に地域的な偏在が生じます。公共施設が税金で設置運営されている以上、「地域内に、できるだけ幅広く施設サービスを提供する」という考え方も必要だと思いますが、北ヨーロッパでは、この「施設サービスの偏在」について、どのような議論がなされたのでしょうか。ご教授ください。

回答

北ヨーロッパにおいても生涯学習施設は、図書館以外に、文化センター、ユースセンター、高齢者センターなど偏在しています。しかしながら図書館が最も歴史が古く数も多いため、図書館が主体となった複合施設が多くなっている現状があります。これは議論がなされたというよりも、図書館が従来からコミュニティの文化施設の中心的な存在だったため、複合施設化する段階で図書館を中心に施設計画が実施されてきた結果と考えられます。現在では中央館に関しては、図書館単機能の施設が設置されることはほとんど見られなくなっています。分館に関しては公立学校への併設が増えています。複合施設の場合、施設の名称は「図書館」ではなく「文化センター」となることもあります。